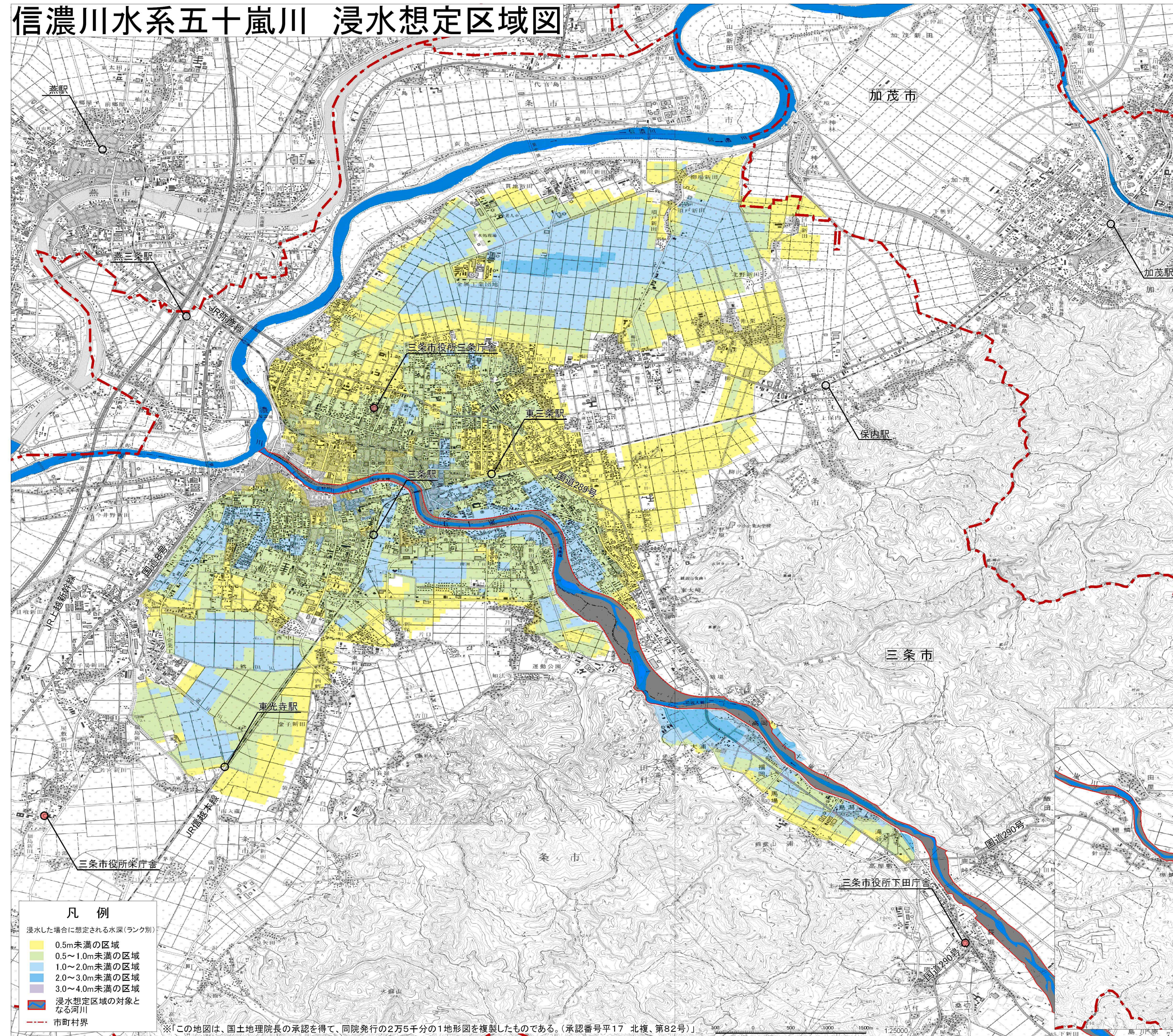


信濃川水系五十嵐川 浸水想定区域図



五十嵐川浸水想定区域図

1. 説明文

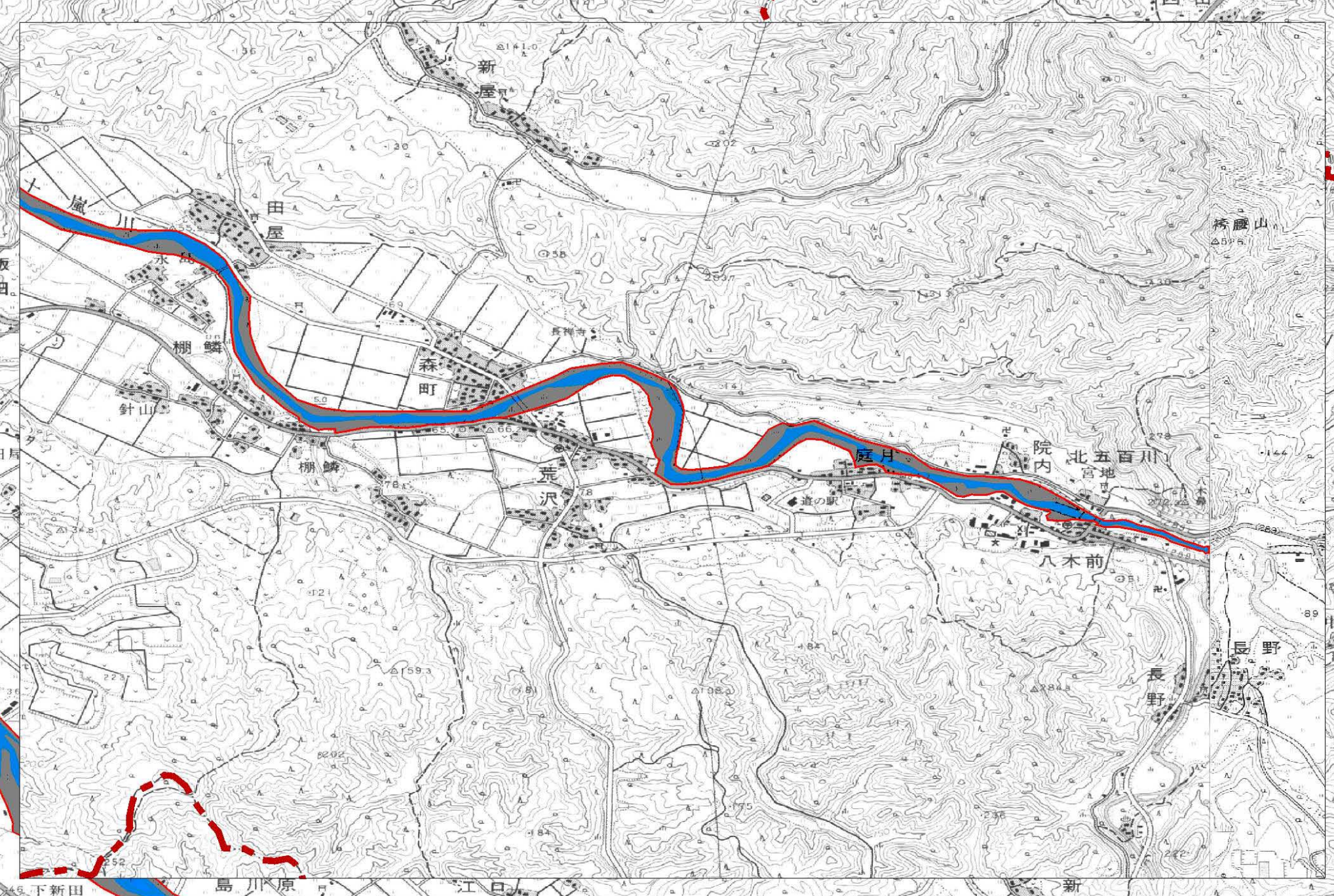
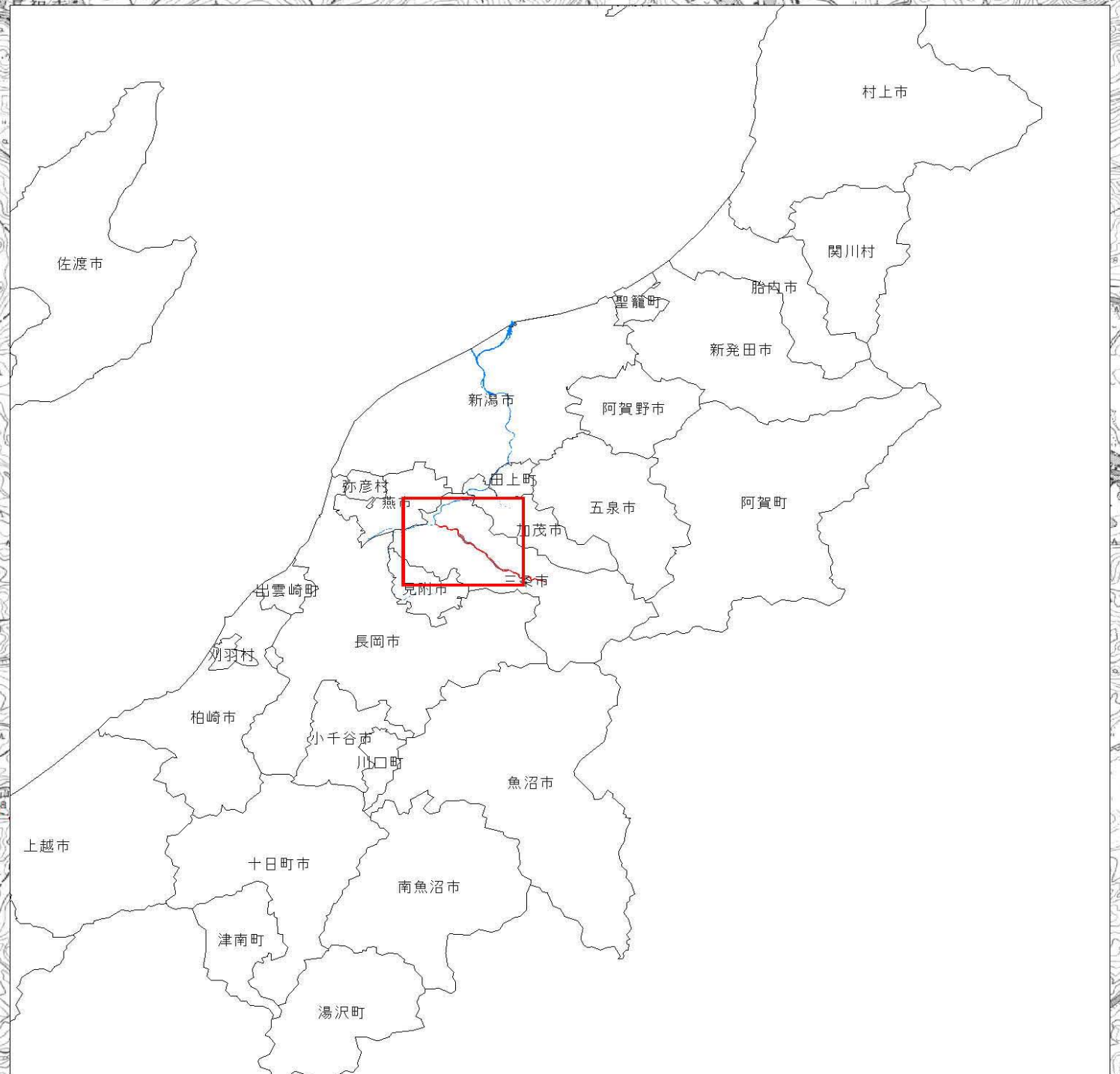
- (1) この浸水想定区域図は、信濃川水系五十嵐川の洪水氾濫により浸水した場合に想定水深を示したものです。
- (2) この浸水想定区域図は、現在の五十嵐川の河道整備状況、笠堀ダムや大谷ダム等の洪水調節施設の状態等を勘案して、洪水防御に関する計画の基本となる降雨である概ね100年に1回程度起こる大雨が降ったことにより五十嵐川が氾濫した場合に想定される浸水の状況をシミュレーションにより求めたものです。
- (3) このシミュレーションの実施にあたっては、大平川などの支川や隣接する貝喰川、布施谷川、刈谷田川、下条川等の氾濫、想定を越える降雨による氾濫等を考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の水深と異なる場合があります。
- (4) なお、当該区域については本川信濃川右岸の氾濫の影響が考えられますので、別途、指定・公表されている信濃川水系信濃川下流浸水想定区域を参照する必要があります。

2. 基本事項等

(1) 作成主体	新潟県
(2) 対象となる河川	信濃川水系五十嵐川（実施区間：信濃川合流点～笠堀川合流点）
(3) 対象降雨	五十嵐川流域の2日間雨量34.0mm
(4) 関係市町村	三條市、加茂市
(5) その他計算条件	

- ① 氾濫計算は、対象区域を50m格子（計算メッシュという）に分割して、これを一単位として計算しています。
- ② メッシュの地盤高は1/2,500都市計画図等から求めた平均地盤高を使用しています。このため、微地形による影響が表せていない場合があります。
- ③ 連続して大規模に盛土された道路や中小河川の堤防等については氾濫水の広がりや左右することから、計算メッシュにおいて平均地盤高とは別に扱い、その影響を考慮したシミュレーションを行っています。

新潟県三條地域振興局 平成22年 7月



凡例

浸水した場合に想定される水深（ランク別）

0.5m未満の区域
0.5～1.0m未満の区域
1.0～2.0m未満の区域
2.0～3.0m未満の区域
3.0～4.0m未満の区域
浸水想定区域の対象となる河川
市町村界

※「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を複製したものである。（承認番号平17 北複、第82号）」

